

## ガナ語資料：ヴォイスとその周辺

### G||ana data: voice

ハケドゥメレ・セケレ, 加藤 幹治, 大野 仁美, 中川 裕

**Gakedumele Sekere, Kanji Kato, Hitomi Ono, Hiroshi Nakagawa**

東京外国語大学オープンアカデミー講師

独立研究者

麗澤大学外国語学部

東京外国語大学大学院総合国際学研究院

TUFS Open Academy

Independent researcher

Faculty of Foreign Studies, Reitaku University

School of Language and Cultural Studies, Tokyo University of Foreign Studies

**要旨：**『語研論集』特集 17 号の「ヴォイスとその周辺」の調査票に基づき収集した、コエ・クワディ語族ガナ語の資料を提示する。

**Abstract:** This article provides data on the G||ana language of the Khoe-Kwadi language family, collected based on the questionnaire for “Voice” in *Journal of the Institute of Language Research* vol. 14.

**DOI:** <https://doi.org/10.15026/0002001500>

**キーワード：**コイサン諸語, ヴォイス

**Keywords:** Keywords: Khoisan, voice

### 1. はじめに

この報告は『語研論集』特集 17 号の「ヴォイスとその周辺」の調査票に基づくガナ語 (G||ana) 資料収集の結果を提示する。ガナ語は、カラハリ盆地言語帯 (コイサンの名でも知られる言語地域)、コエ・クワディ語族、西カラハリ・コエ語派 (ガナ・グイ語群) に属し、ボツワナ共和国ハンシー県で主に話され、現在ほとくにニューカデ村 (New Xade) に話者は集住している。なお、本報告で扱うのはガナ語ギョム方言である。

資料収集手順は次の通りである。ガナ語資料の収集は、以下の手順で実施した。まず、加藤ほか (2021) に掲載されたグイ語資料の例文を参照し、各例文に適切な文脈を与えながら、ガナ語を母語としグイ語にも堪能なハケドゥメレ・セケレが、中川裕・大野仁美と協力してガナ語訳を作成した。その過程では、セケレとの議論を通じて、音韻論・形態論・統語論・意味論の各側面から分析を行った。さらに、得られた分析結果に基づき、加藤幹治が文法注釈 (アノテーション) を付した。

次節の記述では、調査票における設問の配列をおおむね踏襲し、対応する資料を同じ順序で提示する。ガナ語の表記には、音韻論的に妥当な正書法を採用しており、その概要については付録を参照のこと。本研究は、日本学術振興会科学研究費補助金 (課題番号: 20H0001, 22H04929, 22K18249, 22K00536, 23H00621) の助成を受けて実施されたものである。



本稿の著作権は著者が保持し、クリエイティブ・コモンズ 表示 4.0 国際ライセンス (CC-BY) 下に提供します。  
<https://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>

## 2. 資料

この節でグロスに用いる略号は以下のとおりである。

ACC = accusative, ADVLZ = adverbializer, ASSOC = associative, BEN = benefactive, C = common (男性と女性を含む), CAUS = causative, DU = dual, EMPH = emphasis, F = feminine, FUT1 = hodiernal future, GEN = genitive, IPFV = imperfective, JUNCT = juncture (複合節における非末動詞を作る形態素), M = masculine, NEG = negative, NOM = nominative, PASS = passive, PL = plural, PRF = perfect, PRG = progressive, PSTN = 昨夜過去, RECP = reciprocal, REFL = reflexive, SG = singular.

- (1a) *ngúū=ṁ kx'ám è ká káākí<sup>1</sup> ||xóré-hèn*  
 hut=3M.SG.GEN mouth NOM PSTN by.oneself open-REFL

「(風などで) ドアがひとりでに開いた。」

多くの動詞は、自動詞か他動詞のいずれかに分類され、もっぱら他動詞として使われる動詞は、しばしば再帰形をつくる拡張接尾辞 *-hèn* をつけて自動詞を派生させる。(1a,b)における動詞 *||xóré* 「開ける」はその一例である。「家のドア(入り口)」は(1b)のように複合語としても用いられる。

- (1b) *ngúū-kx'ám è ká káākí ||xóré-hèn*  
 hut-mouth NOM PSTN by.oneself open-REFL

「(風などで) ドアがひとりでに開いた。」

- (2) *'àbè ká ngúū=ṁ kx'ám ||xóré*  
 3M.SG.NOM PSTN hut=3M.SG.GEN mouth open

「(彼が) ドアを開けた。」

- (3) *ngúū=ṁ kx'ám è ||xóré-'è*  
 hut=3M.SG.GEN mouth NOM open-PASS

「(入り口の) ドアが開けられた。」

受動形は接尾辞 *-'è* で作る。

- (4) *ngúū=ṁ kx'ám è khóán-'è*  
 hut=3M.SG.GEN mouth NOM break.vt-PASS

「(入り口の) ドアが壊された。」

- (5a) *ngúū=ṁ kx'ám è káākí khôān*  
 hut=3M.SG.GEN mouth NOM by.oneself break.vi

「ドアがひとりでに壊れた(ただし家のドアがひとりでに壊れることは現実にはあまり無い).」

<sup>1</sup> 「ひとりでに」は *|úú-xà* でも可。

一部の動詞は自他の対立に声調交替が関与する。(5)における *khóán* 「壊す」と *khōān* 「壊れる」はその一例である。自他の区別に関与する声調交替は語彙的に決まっているが，その対は多かれ少なかれ規則的である。その部分的規則性については別の機会に記述する。

(5b) 'àbè            kā    ngúū=m̄            kx'ám khóán  
3M.SG.NOM PSTN hut=3M.SG.GEN mouth break.vt

「彼はドアを壊した。」

(6) cē            cī            dèbāxō=bà'á<sup>2</sup>            céé-kàxō  
1SG.NOM 1SG.GEN younger.brother=3M.SG.ACC stand-CAUS

「私は自分の弟を立たせた（つかんで立たせる場合や，動いている主体に止まれと言って立ち止まらせる場合も）。」

被使役主は目的語と同じく対格で示される。使役動詞の派生には，(i) 動詞拡張接尾辞 *-kàxō* を動詞に付ける手法と，(ii) 動詞語根の完全重複と声調交替とを用いる畳語形による手法があるが，前者のほうがより生産的で，表す意味の範囲も広い。畳語形の形成は複雑であるため，別の機会に記述する。なお，使役接尾辞 *-kàxō* は通常，単一形態として用いられるが，その語源的構成 (*kà* ‘多機能斜格’ + *xúū* ‘leave’) を反映する現象として，両要素が分離し，*kà* と *xō* の間に別の成分が入ることもある。この現象は，この使役表現が接辞化の過程にあることを示唆するが，このトピックについても別の機会に譲る。

(7) cē            cī            dèbāxō=bà'á            tàññ-kàxō  
1SG.NOM 1SG.GEN younger.brother=3M.SG.ACC stand.up-CAUS

「私は（自分の）弟を立たせた（掴んで立ち上がらせる）。」

*tàññ* 「立つ」の使役畳語形である *tàññ~tàññ* は普通使わない。

(8a) cē            cī            dèbāxō=bà'á            /íí=sà'á            //náè-kàxō  
1SG.NOM 1SG.GEN younger.brother=3M.SG.ACC song=3F.SG.ACC sing-CAUS

「私は弟に歌を歌わせた。」

(8a) のように使役化された他動詞に目的語がある場合も，被使役主と目的語の両方が PGN<sup>3</sup> 対格形で示される。

<sup>2</sup> 正書法では *bà'á* と綴り，音韻形 /bàʔà/ を示すが，本稿では接辞境界のハイフン使用を優先し，*bà'á* と記す。以下に示す同様の語についても同じ方針をとり，アポストロフィで声門閉鎖音を示す: *cā'á*, *bà'á*, *sà'á*, *dzà'á*, *rà'á*, *àbà'á*, *èsà'á*, *èdzà'á*。

<sup>3</sup> PGN は person, gender, number の略称であり，そのホストの人称，性，数および格を融合的にコード化する接語を指す。

(8b) \**cē cī dèbāxō=bà'à |í=sà'à ||nâē||nàè*

「(非文) 私は弟に歌を歌わせた。」

(8b) の意味では、声調交替規則を適用して作った使役豊語形である\**||nâē||nàè* は使えない。(8c) のように声調の異なる *||náè||nàè* という形式は用いられるが、この語形のもつ意味は「歌わせる」ではなく、歌に限らず「助言する/訓練する」である ((8d) 参照)。この語形が *||náè* 「歌う」を語源とするかどうかは不明である。

(8c) *cē cī dèbāxō=bà'à |í=sà'à ||náè||nàè*

1SG.NOM 1SG.GEN younger.brother=3M.SG.ACC song=3F.SG.ACC advise

「私は弟に歌の手解きをした。」

(8d) *'àrè kùà 'èkhùrà séèkù=sì kà ||náè||nàè*

3C.PL.NOM PRG 3C.DU.ACC marriage=3F.SG.GEN about advise

「彼らは二人に結婚についてアドバイスした。」

(9) *'èsè 'àbà'à péré=sà'à tséé, 'àbè síí à kùà 'èsà'à*

3F.SG.NOM 3M.SG.ACC bread=3F.SG.ACC make.work 3M.SG.NOM go and PRG 3F.SG.ACC

*||'àèn bènntèrè=sì 'wà*

buy shop=3F.SG.GEN in

「(本人の意志は問わずに) 彼女は彼にパンを買いに行かせた (私は彼をパンのことで使い立てして、彼は店に買いに行っている).」

使役が強制的であったり許可的であったりすることを明示的に示したい場合は、使役形以外で表現することが多い—たとえば (9) や (10) のように *tséé* という動詞を使う。この動詞は二重目的語 (どちらも対格) をとり、“A (B) *tséé*” 「(B の件で)A(人)を使う」を意味する。

(10) *cē 'àbà'à 'āānxò=dzà'à tséé, 'àbè kùà 'èdzà'à ||x'áà*

1SG.NOM 3M.SG.ACC clothes=3F.PL.ACC make.work 3M.SG.NOM PRG 3F.PL.ACC wash

「私は彼に服を洗わせている (私は彼を服のことで使い立てして、彼は服を洗っている).」

(11) *cē 'āānxò=dzà'à 'àbà'à ||x'áà-kàxō*

1SG.NOM clothes=3F.PL.ACC 3M.SG.ACC wash-CAUS

「私は彼に服を洗わせた。」

*tséé* 「(人)を使う」以外にも、*xúū* ‘leave’ を用いて許可的意味 (12)、*#gúùm* ‘agree’ を用いて同意の意味 (13) が表される。

- (12) //ôôn=sè kùà 'àbà'à xúū, 'àbè sí à kùà qàè  
 parent=3F.SG.NOM PRG 3M.SG.ACC leave 3M.SG.NOM go and PRG play  
 「(子供が遊びに行きたがっているのを見て) 母は彼に遊びに行かせる (行かせてやる).」

- (13) //ôôn=sè kùà 'àbà'à †gúùm, 'àbè sí à kùà qàè  
 parent=3F.SG.NOM PRG 3M.SG.ACC agree 3M.SG.NOM go and PRG play  
 「(子供が遊びに行きたがっているのを見て) 母は彼に遊びに行かせる.」

- (14) //ôôn=sè kùà 'àbà'à qàè-kàxō  
 parent=3F.SG.NOM PRG 3M.SG.ACC play-CAUS  
 「母は子供に遊ばせる (子供は必ずしも遊びたいわけではない).」

- (15a) cē cī dèbāxō=bà'à 'ān-kàxō  
 1SG.NOM 1SG.GEN younger.brother=3M.SG.ACC wear-CAUS  
 「私は弟に服を着せた (手を使って着せる, あるいは, 服を買ってやる).」

- (15b) cē cī dèbāxō=bà'à bōōrī à méén 'ān  
 1SG.NOM 1SG.GEN younger.brother=3M.SG.ACC tell and say wear  
 「私は弟に「着なさい」と言った.」

(15b) は着るように言うことを意味するが, この意味は (15a) にはない.

- (16) cē cī dèbāxō=bà'à 'ānxò=dzà'à 'ān-kàxō  
 1SG.NOM 1SG.GEN younger.brother=3M.SG.ACC clothes=3F.PL.ACC wear-CAUS  
 「私は弟にその服を着させた.」

(16) は, 直接の行為か間接の行為かは含意しないので, それを明示化するためにはその補足情報が別途必要である.

- (17) cē cī dèbāxō=bà'à búúkà chēē  
 1SG.NOM 1SG.GEN younger.brother=3M.SG.ACC paper present  
 「私は弟にその本をあげた.」

- (18) cē cī dèbāxō=bà'à búúkà mán  
 1SG.NOM 1SG.GEN younger.brother=3M.SG.ACC paper give  
 「私は弟にその本を渡した.」

chēē「あげる」は所有者が変わるが, mán「渡す」は必ずしもそうではない. 後者は動詞の連辞形 juncture form に接続して恩恵表現 (benefactive) に用いられる (例文 (19)–(21) 参照).

- (19) *cē cī dèbāxō=bà'à búúkà=sà'à bàlā-máàn*  
 1SG.NOM 1SG.GEN younger.brother=3M.SG.ACC paper=3F.SG.ACC read;JNCT-give(BEN)  
 「私は弟に本を読んであげた。」

- (20) *cī cīāxō=bè cā'à búúkà=sà'à bàlā-máàn*  
 1SG.GEN elder.brother=3M.SG.NOM 1SG.ACC book=3F.SG.ACC read;JNCT-give(BEN)  
 「兄は私に本を読んでくれた。」

例 (20) の間接目的語 (私) を主語にして (21a) のような受動文を作ることは可能である。

- (21a) *cē cī cīāxò=m kà búúkà=sà'à*  
 1SG.NOM 1SG.GEN elder.brother=3M.SG.GEN by paper=3F.SG.ACC  
*bàlā-máàn-'è*  
 read;JNCT-give(BEN)-PASS  
 「私は兄に本を読んでもらった。」

ただし「兄に (よって)」に当たる *cīāxò=m kà* は「兄の」という所有を表す表現と同形なので、(21a) は「私は兄の本を読んでもらった」とも解釈できる。

- (21b) *búúkà=sè kùà bàlā-máàn-'è*  
 paper=3F.SG.NOM PRG read;JNCT-give(BEN)-PASS  
 「本は読まれている最中だ。」

- (21c) *búúkà=sè kùà cā'à bàlā-máàn-'è*  
 paper=3F.SG.NOM PRG 1SG.ACC read;JNCT-give(BEN)-PASS  
 「本は私に (対して) 読まれている最中だ。」

- (21d) \**búúkà=sè kùà cī cīāxò=m kà bàlā-máàn-'è*  
 paper=3F.SG.NOM PRG 1SG.GEN elder.brother=3M.SG.GEN by read;JNCT-give(BEN)-PASS  
 「(非文) 本は私の兄に読まれている (兄が朗読中だ).」

(21d) のように直接目的語 (本) を主語にして進行の受動態にした場合、読んだ主体を表す「兄に (よって)」に当たる部分を明示すると不適格になる。

- (22) *dyèē=sè cī kà |'òōn=rà'à |'ū*  
 mother=3F.SG.NOM 1SG.GEN of hair=3F.PL.ACC cut  
 「私は母に髪を切ってもらった (lit. 母は私の髪を刈った).」

- (23) *cī*      /'ôôn=rè      *mme=sì*      *kà* /'û-'è  
 1SG.GEN hair=3C.PL.NOM my.mother=3F.SG.GEN by cut-PASS  
 「私は母に髪を切ってもらった (lit. 私の髪は母に刈られた; *mme* 「母」はツワナ語からの借用).」

- (24) *cī*      /'ôôn è      /'û-'è  
 1SG.GEN hair NOM cut-PASS  
 「私の髪は刈られた。」

- (25) *cē*      /'û-hā-'è      *mme=sì*      *kà*  
 1SG.NOM cut;JNCT-PRF-PASS mother=3F.SG.GEN by  
 「私は (母に) 整髪してもらった (髪の毛には言及できない).」

「母に」を述べずに，*cē cī kà /'ôôn dzà'à /'iyā-hà* 「私は髪を刈っている (完了)」なら良い。

- (26) *cē*      *xō=sà'à*      //x'áà  
 1SG.NOM thing=3F.SG.ACC wash  
 「私は物を洗った。」

- (27a) *cē*      *tshéū=sèrà*      //x'áà  
 1SG.NOM hand=3F.DU.ACC wash  
 「私は (自分の) 両手を洗った。」

(27a) のように主語の身体 (の一部) を他動詞の目的語とすることができる。

- (27b) *cē*      //x'āā-tshéū  
 1SG.NOM wash-hand  
 「私は (自分の) 手を洗った (手洗いした) .」

- (28) *cē*      *cī*      /xáé'ò //x'áà  
 1SG.NOM 1SG.GEN body wash  
 「私は (自分の) 体を洗った。」

- (29) *cē*      //x'āā-hèn  
 1SG.NOM wash-REFL  
 「私は (自分の) 体を洗った (lit. 私は自分を洗った).」

(29) のように再帰形を用いた場合は，(身体の一部などの) 目的語は使用しない。

- (30) *cē cī tshéū ||x'áà*  
 1SG.NOM 1SG.GEN hand wash  
 「私は自分の手を洗った。」

- (31) *cē 'èsà'à ||'âyān-máàn-hèn*  
 1SG.NOM 3F.SG.ACC buy;JNCT-give(BEN)-REFL  
 「(自分のために) 私はそれを買った。」

- (32) *'ètsèrè kùà ||x'ám-kù*  
 3M.DU.NOM IPFV hit-RECP  
 「彼ら二人は殴り合っている。」

相互動作は拡張辞 *-kù* で表される (32).

- (33) *'ètsèrè hācì ||x'ám-kù*  
 3M.DU.NOM PRG hit-RECP  
 「彼ら二人は殴り合っている (長時間).」

- (34) *'ànn òē è ||'áé=sì 'wà kôān-hà*  
 3C.PL.GEN all NOM hometown=3F.SG.GEN in go;JNCT-PRF  
 「その人たちは (みんな一緒に) 街へ行った (衆動).」

- (35) *|nēn=sì |ít=sè kùà khóè xà=rà'à kx'áē-kàxō.*  
 this=3F.SG.GEN song=3F.SG.NOM IPFV person ASSOC=3C.PL.ACC cry-CAUS  
 「その歌は泣ける (その歌は聞く人を泣かせる).」

- (36a) *|nēn=sì |ít=sè kx'áē-rì.*  
 this=3F.SG.GEN song=3F.SG.NOM cry-be.for  
 「その歌は泣ける (その歌は泣くためのものだ).」

- (36b) *|nēn=sì |ít=sè kx'áē-rìyā-kx'ât*  
 this=3F.SG.GEN song=3F.SG.NOM cry-be.for;JNCT-excessive  
 「その歌は甚だしく泣ける (その歌は泣くためのものでありすぎる).」

- (37) *cē †'úbī(=bà'à) !qárā.*  
 1SG.NOM egg(=3M.SG.ACC) break  
 「私は卵を割った。」

(37) は割る行為が意志的かどうかは問わない。!'áān-kà-gáā-khā 'on purpose', sáán à 'by mistake' のどちらとも共起できる。

(38) *cē sáán à kóópì !qārā.*

1SG.NOM fail and cup break

「うっかり私はコップを割った（割ってしまった）。」

(39) *cē kā kóófì kx'áà à cúá c'óèn-xà ||'úm̄.*

1SG.NOM PSTN coffee drink and NEG be.good-ADVLZ sleep

「昨夜私はコーヒーを飲みすぎて（飲みすぎたので）よく眠れなかった。」

(40) *cē kā 'áó-xà bereka à cúá c'óèn-xà ||'úm̄*

1SG.NOM PSTN last.long-ADVLZ work and NEG be.good-ADVLZ sleep

「きのう私は仕事がたくさんあって（長時間働き）よく眠れなかった。」

(39–40) のように随意的の不可能と不随意的の不可能の区別はない。

(41) *cī mǎān è chòòn*

1SG.GEN head NOM be.painful

「私は頭が痛い (lit. 私の頭が痛い).」

(42) *cē chòòn à mǎān*

1SG.NOM be.painful in head

「私は頭が痛い (lit. 私は頭において痛い).」

(43) *'èsì /'òōn è láò*

3F.SG.GEN hair NOM be.long

「彼女は髪が長い (lit. 彼女の髪は長い).」

(44) *'èsè láò à /'òōn*

3F.SG.NOM be.long in hair

「彼女は髪が長い (lit. 彼女は髪において長い).」

(45) *'àbè 'èsì †nórō-'ò †qhábā*

3M.SG.NOM 3F.SG.GEN back-place slap

「彼は彼女の背中をたたいた。」

- (46) 'àbè 'èsì †nórō-'ò 'wà 'èsà'à †qhábā  
 3M.SG.NOM 3F.SG.GEN back-place in 3F.SG.ACC slap  
 「彼は彼女の背中をたたいた (lit. 彼は彼女を背中においてたたいた).」
- (47) 'àbè 'èsì tshéū xóó  
 3M.SG.NOM 3F.SG.GEN hand grasp  
 「彼は彼女の手をつかんだ。」
- (48) 'àbè 'èsì tshéū 'wà 'èsà'à xóó  
 3M.SG.NOM 3F.SG.GEN hand in 3F.SG.ACC grasp  
 「彼は彼女の手をつかんだ (lit. 彼は彼女を手においてつかんだ).」
- (49) cē kùà 'àm kùà àà thā móòn  
 1SG.NOM PRG 3M.SG.GEN PRG come way.how see  
 「私は彼がやって来るのを見た (見つつある).」
- (50) cē 'è 'ánā-hà 'àm hā àà=sà'à  
 1SG.NOM 3C.SG.ACC know;JNCT-PRF 3M.SG.GEN FUT1 come=3F.SG.ACC  
 「私は彼が今日来ることを知っている。」
- (51) 'àm hā àà=sà'à cē 'ánā-hà  
 3M.SG.GEN FUT1 come=3F.SG.ACC 1SG.NOM know;JNCT-PRF  
 「私は彼が今日来ることを知っている。」

統語構造は異なるが, (50) と (51) はほぼ同じ意味を表す.

- (52) 'àbè †'ánn 'àbè hā |'ōn=bà'à ngéé  
 3M.SG.NOM think 3M.SG.NOM FUT1 other=3M.SG.ACC surpass  
 「彼は自分 (のほう) が勝つと思った。」
- (53) cē tsháā=sà'à kx'áà  
 1SG.NOM water=3F.SG.ACC drink  
 「私は水を飲んだ (容器内の一部でも全部でも).」
- (54) cē tsháā=sà'à kx'āā-khúm  
 1SG.NOM water=3F.SG.ACC drink;JNCT-break  
 「私は水 (の一部) を飲んだ。」

- (55) *cē tsháā=sà'à kx'āā-kéù~kèù*  
 1SG.NOM water=3F.SG.ACC drink;JNCT-remain~CAUS  
 「私は水を一部だけ飲んで一部残した。」
- (56) *cē tsháā=sà'à kx'āā-khírī*  
 1SG.NOM water=3F.SG.ACC drink;JNCT-finish  
 「私は水を全部飲んだ。」
- (57) *'àbè |xáā=sà'à ngānā-hà*  
 3M.SG.NOM meat=3F.SG.ACC food.taboo;JNCT-PRF  
 「彼は肉を食べない。」
- (58) *'àbè tā cúá |xáā=sà'à kx'óō*  
 3M.SG.NOM trait NEG meat=3F.SG.ACC eat  
 「彼は肉を食べない（習慣的に食べない・食べる能力がない）。」
- (59) *'àbè kùà cúá |xáā kx'óō*  
 3M.SG.NOM PRG NEG meat eat  
 「彼は肉を食べない（肉がないため食べられない）。」
- (60) *|nēn |ám kà 'è qhâī*  
 this day on 3C.SG.NOM be.cold  
 「今日は寒い。」
- (61) *cē qhâī khùà ||ām*  
 1SG.NOM be.cold like feel  
 「私は（何だか）寒い（私には寒く感じる）。」
- (62) *khóè xà=ñn ÷úī thā=sà'à cē |'úù*  
 person ASSOC=3C.PL.GEN be.many way.how=3F.SG.ACC 1SG.NOM be.puzzled.by  
 「人が多かった様子を私は怪訝に思った。」
- (63) *cúú=bè ts'éé*  
 rain=3M.SG.NOM rain  
 「雨が今降り始めた。」

- (64) *cúú=bè kùà ts'éé*  
rain=3M.SG.NOM PRG rain  
「雨が今降り始めた/降っている/降りそうだ。」
- (65) *lnēē xā cúú=bè kùà ts'éé*  
eventually EMPH rain=3M.SG.NOM PRG rain  
「(ずっと降っていなかった) 雨がやっと降り始めた。」
- (66) *lnēn=sì buuka=sì ||'âēn è c'óèn*  
this=3F.SG.GEN book=3F.SG.GEN sale NOM be.good  
「この本はよく売れる (lit. この本の売れ行きは良い; ||'âēn は名詞「売れ行き」).」
- (67) *'èsè c'óèn à ||'âēn*  
3F.SG.NOM be.good in sale  
「それはよく売れる。」

#### 参考文献

- 加藤幹治, 大野仁美 & 中川裕. 2021. 「グイ語資料：ヴォイスとその周辺」『語学研究所論集』25. 361–369. <https://doi.org/10.15026/100181>.
- ハケドゥメレ・セケレ, 加藤幹治, 大野仁美 & 中川裕. 2024. 「ガナ語資料：モダリティ」『語学研究所論集』28. 41. <https://doi.org/10.15026/0002000407>.

付録: この記事で用いるガナ語正書法の概要<sup>4</sup>

#### 1. ガナ語アルファベット

ガナ語のアルファベットは、英語と同じ 26 文字 (a~z) とアポストロフィ ('), さらに国際音声記号 (IPA) に由来する 4 つのクリック文字 (|, !, †, ||) から構成される。クリック文字とアポストロフィーを除くすべての文字には大文字と小文字がある。文字とアポストロフィの配列順は以下のとおりである。

a, b, c, d, e, (f), g, h, i, (j), k, (l), m, n, o, p, q, r, s, t, u, (v), w, x, y, z, ', |, !, †, ||.

かっこ内の 4 文字 (f, j, l, v) は、ガナ語の固有語には用いられず、借用語に限って使用される。

ガナ語の正書法では、さらに 4 種類の声調記号を用いる。高声調を示す [´], 中声調を示す [˘], 低声調を示す [˙], 下降調を示す [ˆ] であり、これらのいずれかを母音または鼻音字 (m, n) に付して声調を標示する。

<sup>4</sup> 本付録はハケドゥメレ・セケレほか (2024) の付録の改訂日本語訳である。

## 2. クリック子音

ガナ語の正書法では，表 1 に示す 52 種類のクリック子音に対応して，52 種類の書記素（綴り単位）が使用される。

表 1. クリック書記素（綴り単位）

↓クリック系列	歯	歯茎	硬口蓋	側面
1 無声 (無気)		!	‡	
2 有声	g	!g	‡g	g
3 有気	h	!h	‡h	h
4 放出	k'	!k'	‡k'	k'
5 鼻音	n	!n	‡n	n
6 無声 + x	x	!x	‡x	x
7 無声 + kx'	x'	!x'	‡x'	x'
8 無声 + q	q	!q	‡q	q
9 無声 + qg	qg	!qg	‡qg	qg
10 無声 + qh	qh	!qh	‡qh	qh
11 無声 + q'	q'	!q'	‡q'	q'
12 無声 + '	'	!'	‡'	'
13 無声 + h	nh	!nh	‡nh	nh

4つのクリック文字，すなわち|（歯音クリック），！（歯茎クリック），‡（硬口蓋クリック），||（側面音クリック）は，それ自体で無声（無気）音の単独クリック子音を表す。これらに加えて，24種類の二文字綴り単位（クリック二重字）と，24種類の三文字綴り単位（クリック三重字）が存在する。これらの複文字（multigraph）は，常にクリック文字で始まり，それに1文字あるいは2文字（アポストロフィを含む）が後続する。

## 3. 非クリック子音

非クリック音を表す綴り単位は38種類ある。複文字の内訳は，二重字が15，三重字が5，四重字が1である（表2参照）。表2の行1から行7までは，表1の行1から行7までと，音韻的に並行する関係にある。

表 2. 非クリック書記素（綴り単位）

	唇	歯茎	歯茎破擦	硬口蓋	軟口蓋	口蓋垂	口蓋垂破擦	声門
1. 無声	p	t	ts	c	k	q		'
2. 有声	b	d	dz	dy	g	qg		
3. 有気	ph	th	tsh	ch	kh	qh		
4. 放出		t'	ts'	c'	k'	q'	kx'	
5. 鼻音	m	n			ng			
6. 無声 +x		tx	tsx					
7. 無声 + kx'		tx'	tsx'					
8. 摩擦		s				x		h
9. 半母音・流音	w	r		y				

## 4. 母音

ガナ語の母音には、5つの平母音 [i, e, a, o, u]、3つの鼻母音 [ẽ, ǣ, õ]、および2つの咽頭化母音 [a<sup>h</sup>, u<sup>h</sup>]がある。これらの綴りは表3に示すとおりである。

表 3. 母音の正書法表記

	平母音		鼻母音		咽頭化母音
1 狭母音	i	u			u'
2 中段母音	e	o	en	on	
3 広母音		a		an	a'

鼻母音の正書法綴りで使う n と、音節末鼻子音 (nasal coda) の/n/とを正書法上で区別するために、音節末鼻子音の/n/は nn として表記する。たとえば、[ã] は an, [an] は ann と綴られる。また、音節末鼻子音の/n/の声調は一つ目の n の上に記す (たとえば /`àn/ 「彼らの」)。

執筆者連絡先：tsikitha@gmail.com (ハケドゥメレ・セケレ), jiateng.ganzhi@gmail.com (加藤幹治), ono@reitaku-u.ac.jp (大野仁美), nhirosi@tufs.ac.jp (中川裕)

原稿受理：2025年11月10日

刊行年月日：2026年3月31日